

標準委員会 システム安全専門部会 炉心燃料分科会
第12回 (S1SC12) 議事録

日 時： 2013年5月24日(金) 13:00~17:40

場 所： 東京都 原安進 第3, 4会議室

出席者： 阿部(弘)主査(東北大)、馬場副主査(JNES)、矢野幹事(原安進)、
巻上 BWR 幹事(東電)、真寄 PWR 幹事(関電)、工藤代理(大川委員)、
小川委員(MHI)、岩本委員(GNF)、本谷委員(東芝)、河村委員(電中研)、
北島委員(電中研)、黒崎委員(阪大)、杉山委員(JAEA)、土内委員(NFI)、
近藤委員(日立 GE)、岡崎代理(原電)、森下委員(京大)計17名

常時参加者：久保、谷口、木下(NFI)、金子(GNF)、高橋(MNF)、中島(JNES)、
福田(MHI)、北野(東芝)、杉村(NEL)、河合、平川(原安進)

説明者/傍聴者：鈴木(東大)、尾形(電中研)、下川、安部田(原安進)、市田委員候補(MNF)
(敬称略)

配付資料

- S1SC12-1-1 溶融事故における核燃料関連の課題検討WG活動報告
- S1SC12-1-2 溶融燃料サブワーキンググループ活動報告
- S1SC12-1-3 燃料溶融事故を踏まえた軽水炉燃料に係る研究課題検討SG活動報告
- S1SC12-2 第11回分科会議事録(案)
- S1SC12-3 人事について(案)
- S1SC12-4 報告書案について
- S1SC12-5 第1作業会および第3作業会の進捗状況
- S1SC12-6 第2作業会および第4作業会の進捗状況

議事及び主な質疑応答

1. 資料確認

幹事より議事次第に基づき、配布資料の確認が行われた。

2. 溶融事故における核燃料関連の課題検討WGの活動状況について

第11回分科会において、燃料のシビアアクシデント関係の検討を行っている核燃料部会の状況も把握することとしていたため、核燃料部会から溶融事故における核燃料関連の課題検討WGの活動状況について、以下の3件の報告いただいた。資料(S1SC12-1-1~12-1-3)

- (1) 溶融事故における核燃料関連の課題検討ワーキンググループ活動報告
(S1SC12-1-1) 大阪大学・黒崎准教授
- (2) 溶融燃料サブワーキンググループ活動報告(S1SC12-1-2) 電中研・尾形上席
研究員

- (3)「燃料溶融事故を踏まえた軽水炉燃料に係る研究課題」サブワーキンググループ
活動報告 (S1SC12-1-3) 東京大学・鈴木准教授

3. 出席者確認

幹事より出席者数が確認され、本分科会の定足数を満たすことが報告された。

4. 前回議事録(案)の確認について (S1SC12-2)

幹事より、第 11 回議事録(案)について報告され、承認された。

5. 人事について (S1SC12-3)

幹事より資料 12-3 に基づき報告し、分科会委員及び第 2 作業会委員の退任及び分科会委員の選任及び第 2 作業会委員新任が承認された。

①委員の退任

扇柳 仁、関 一哉

②委員の選任

市田裕和

③常時参加者の解除

小川明彦

④作業会委員の新任

第 2 作業会 市田裕和

④作業会委員の退任

第 2 作業会 関 一哉

6. 報告書骨子(案)について (S1SC12-4、12-5、12-6)

報告書構成案について、福田氏、近藤氏より、3 部構成の報告書(案)の記載内容について説明し、議論した。また、合わせて各作業会の活動状況も報告された。議論の結果以下を確認した。

- ・ 第 1、第 2、第 3 作業会の報告書を一つにまとめて、分科会報告書とする方向を確認した。まとめ方については、今後も議論を継続することとした。
- ・ 第 2、第 3 作業会報告書では燃料の損傷モードを基点として、その評価に係わる核パラメータ等を整理しているが、まず、第 1 作業会報告書で損傷モードと核パラメータのつながりの説明を記載し、第 2、第 3 作業会報告書の入り口を示すことを確認した。
- ・ 第 2 作業会報告書は、現行の評価事象を前提とするのではなく、評価すべき事象

をもれなく検討し、その結果として、現行の評価事象範囲内で整理しているとの展開とすることが要望された。

- ・ 第2、第3作業会でも課題の検討を行い、その成果を報告書に反映することを確認した。

7. その他

阿部主査より、春の大会発表についての報告および今後のスケジュール確認がなされた。また、幹事より5月31日のシステム安全専門部会に分科会の検討状況について報告することを説明した。

次回 開催日

次回の分科会開催日は、8月19日(月)午後13:30～の予定とした。

以 上